公開情報 2024 年 1 月～12 月 年報(集計対象医療機関・200 床以上)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

JANIS

【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）、多剤耐性緑膿菌（MDRP）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）、多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の 7 種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。

薬剤耐性菌は、巻末資料の判定基準に準じて各医療機関が判定しており、感染症の判定は原則以下の 1.または 2.に該当した場合とする。

1. 主治医（担当医）以外のサーベイランス担当医、感染症専門医（あるいは感染制御チーム等）が「感染症」と診断した場合。
2. MRSA が分離された患者の場合は、感染部位の炎症所見あるいは全身性の炎症マーカーが陽性で、抗 MRSA 薬が投与されている場合。

また、性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

Japan Nosocomial Infections Surveillance

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。　データ集計日：2025 年 04 月 14 日
公開情報掲載日：2025 年 07 月 10 日

【解説】

1. データ提出医療機関数

病床規模が 200 床以上の 2024 年年報（2024 年 1 月～12 月）集計対象医療機関数は 636 施設であり、前年より 10 施設減少した。これは国内の 200 床以上の医療機関 2,418 施設の 26.3%を占めていた。

2. 新規感染症患者数と罹患率

まず、新型コロナウイルス感染拡大の影響により 2020 年、2021 年と減少していた総入院患者数は 2022 年から増加に転じ、2024 年は前年と比べて 113,467 人増加（2.2%増）して 5,212,342 人となった（ただし、2019 年の総入院患者数 5,398,819 人と比べると、まだ 186,477 人少ない）。

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 13,921 人（前年に比べて 335 人の減少）であった。このうち MRSA は 12,902 人（92.7%）を占め、次いで CRE 622 人（4.5%）、PRSP 301 人（2.2%）、MDRP 61 人（0.4%）、VRE 34 人（0.2%）、MDRA 1 人（0.01%）であった。

新規感染症発症患者数が前年に比べて減少したのは MRSA と MDRP であり、MRSA 375 人減（2.8%減）、MDRP 2 人減（3.2%減）であった。他の薬剤耐性菌については、VRE 19 人増（126.7%増）、CRE 16 人増（2.6%増）、PRSP 7 人増（2.4%増）であった。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を分子、(総入院患者数-継続感染症患者数) を分母とした罹患率は、MRSA では 2.48 ‰、CRE 0.12‰、PRSP 0.06‰、MDRP 0.01‰、VRE0.01‰であった。なお、VRSA による感染症の報告はなかった。

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者の合計は、女性よりも男性の方が多かった。薬剤耐性菌別の男女比に関しても、MRSA、PRSP、MDRP はいずれも 1.8：1 であり、CRE は 1.5：1 であった。

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は 70 歳代以上が全体の 72.8%を占めていた。薬剤耐性菌別では MRSA、VRE、PRSP、MDRP、CRE はいずれも 70 歳代以上が多かったものの、PRSP では 23.3%が 10 歳未満であった。

5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 35.8%と最も多くを占め、中でも PRSP は 85.0%が呼吸器系検体であった。MRSA、MDRP でも同様に呼吸器系検体が 35.4%、41.0%と最も多かった。CRE ではその他の検体が 29.3%を占めていたが、次に血液検体で 25.2%を占めていた。（その他の検体の内訳については、巻末資料「資料 1」を参照のこと）

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は肺炎が最も多く 32.5%を占めた。中でも PRSP では肺炎が 77.7%、肺炎以外の呼吸器感染症が 6.6%であった。MRSA では肺炎が 32.1%と最も多く、次いで菌血症 26.8%、皮膚・軟部組織感染 16.7%、手術創感染 7.3%の順で報告された。MDRP では肺炎が 36.1%と最も多く、次いで尿路感染症が 31.1%であった。CRE では菌血症が 22.3%と最も多く、次いで尿路感染症が 21.5%、肺炎 19.6%であった。

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 44.9%、外科系 40.3%、小児科系 3.1%であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 44.8%、外科系 40.9%、MDRP は内科系 52.5%、外科系 34.4%、PRSP は内科系 54.2%、次いで小児科系 24.6%、外科系は 9.6%であった。CRE は唯一外科系の割合が最も高く、外科系 44.5%、内科系 41.0%であった。

2024 年 1 月～12 月のうち、ひと月でもデータが未提出の 19 医療機関は集計対象外とした。
下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 6 医療機関についても集計から除外した。

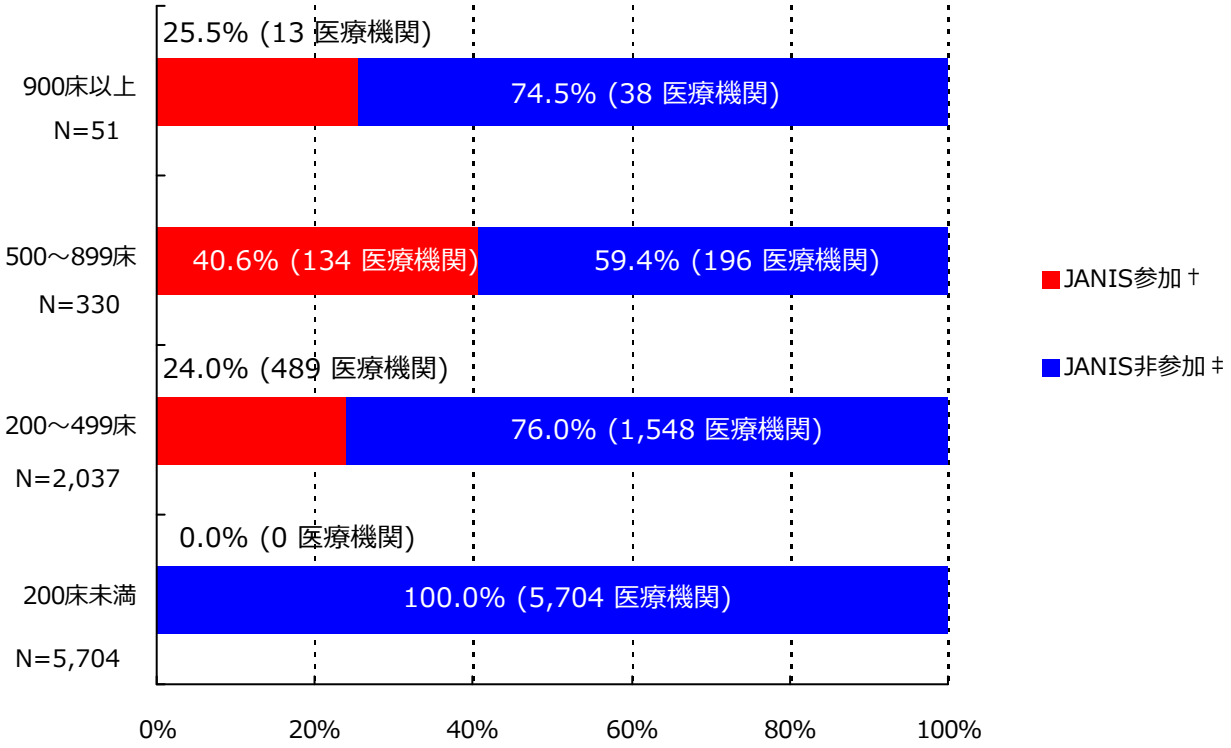
疑義データ および 集計対象外医療機関の条件

- 19 床以下の有床診療所の報告。
- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告がない。
- VRSA、VRE、MDRA 感染症の報告が年間 1 件以上ある。
- MRSA、MDRP、PRSP、CRE 感染症の罹患率が高く逸脱している（極値）。

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。 データ集計日：2025 年 04 月 14 日
公開情報掲載日：2025 年 07 月 10 日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

1. データ提出医療機関*数(636医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = （2023年 全国医療機関数¶） −（2024年1月～12月 集計対象医療機関数）

病床数	2023年 全国医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	51	13 （ 25.5%）
500～899床	330	134 （ 40.6%）
200～499床	2,037	489 （ 24%）
200床未満	5,704	0 （ 0%）
病床数不明	-	0 （ -）
合計	8,122	636 （ 7.8%）

¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日： 2025年04月14日

公開情報掲載日： 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
2022年	633	4,866,697	188	12,757	2.62‰	0.00 2.31 49.90
2023年	646	5,098,875	189	13,277	2.60‰	0.00 2.28 30.82
2024年	636	5,212,342	188	12,902	2.48‰	0.00 2.18 40.49

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
2022年	633	4,866,697	0	17	0.00‰	0.00 0.00 0.67
2023年	646	5,098,875	0	15	0.00‰	0.00 0.00 1.31
2024年	636	5,212,342	0	34	0.01‰	0.00 0.00 1.74

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日: 2025年04月14日
公開情報掲載日: 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
2022年	633	4,866,697	0	168	0.03‰	0.00 0.00 1.31
2023年	646	5,098,875	0	294	0.06‰	0.00 0.00 1.60
2024年	636	5,212,342	1	301	0.06‰	0.00 0.00 1.96

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
2022年	633	4,866,697	2	56	0.01‰	0.00 0.00 1.49
2023年	646	5,098,875	1	63	0.01‰	0.00 0.00 1.41
2024年	636	5,212,342	0	61	0.01‰	0.00 0.00 3.10

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日: 2025年04月14日
公開情報掲載日: 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
2022年	633	4,866,697	0	2	0.00‰	0.00 0.00 0.16
2023年	646	5,098,875	0	1	0.00‰	0.00 0.00 0.06
2024年	636	5,212,342	0	1	0.00‰	0.00 0.00 1.96

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
2022年	633	4,866,697	2	502	0.10‰	0.00 0.00 3.46
2023年	646	5,098,875	2	606	0.12‰	0.00 0.00 4.13
2024年	636	5,212,342	1	622	0.12‰	0.00 0.00 4.32

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日: 2025年04月14日
公開情報掲載日: 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数＝（対象期間の各月の新規入院患者数の合計）＋（対象期間の一番初めの月の継続入院患者数）

感染症患者数＝（新規感染症患者数）＋（対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数）

新規感染症患者数＝対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数＝対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率＝（新規感染症患者数）÷（（総入院患者数）－（対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数））×1000

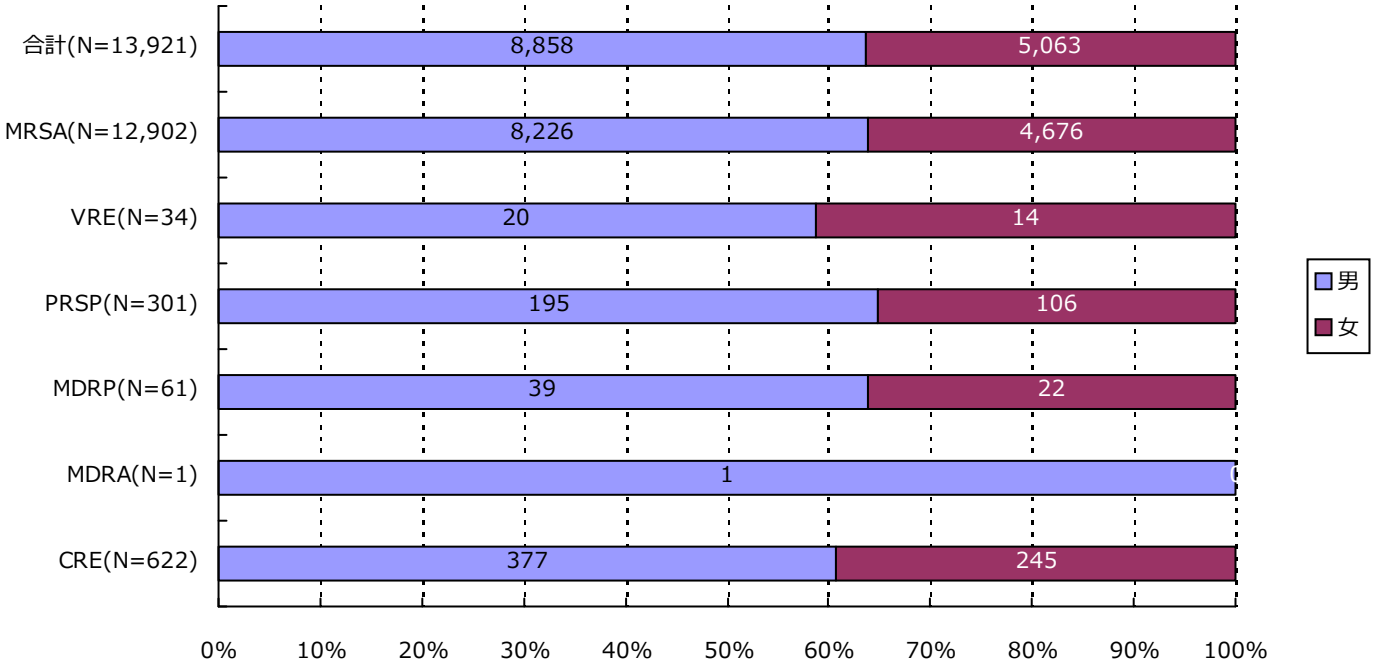
全体の罹患率＝（集計対象医療機関の新規感染症患者数合計）÷（（集計対象医療機関の総入院患者数合計）－（集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計））×1000

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日： 2025年04月14日
公開情報掲載日： 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	8,858(63.6%)	8,226(63.8%)	0(-)	20(58.8%)	195 (64.8%)	39(63.9%)	1(100.0%)	377(60.6%)
女	5,063(36.4%)	4,676(36.2%)	0(-)	14(41.2%)	106 (35.2%)	22(36.1%)	0(-)	245(39.4%)
合計	13,921	12,902	0	34	301	61	1	622

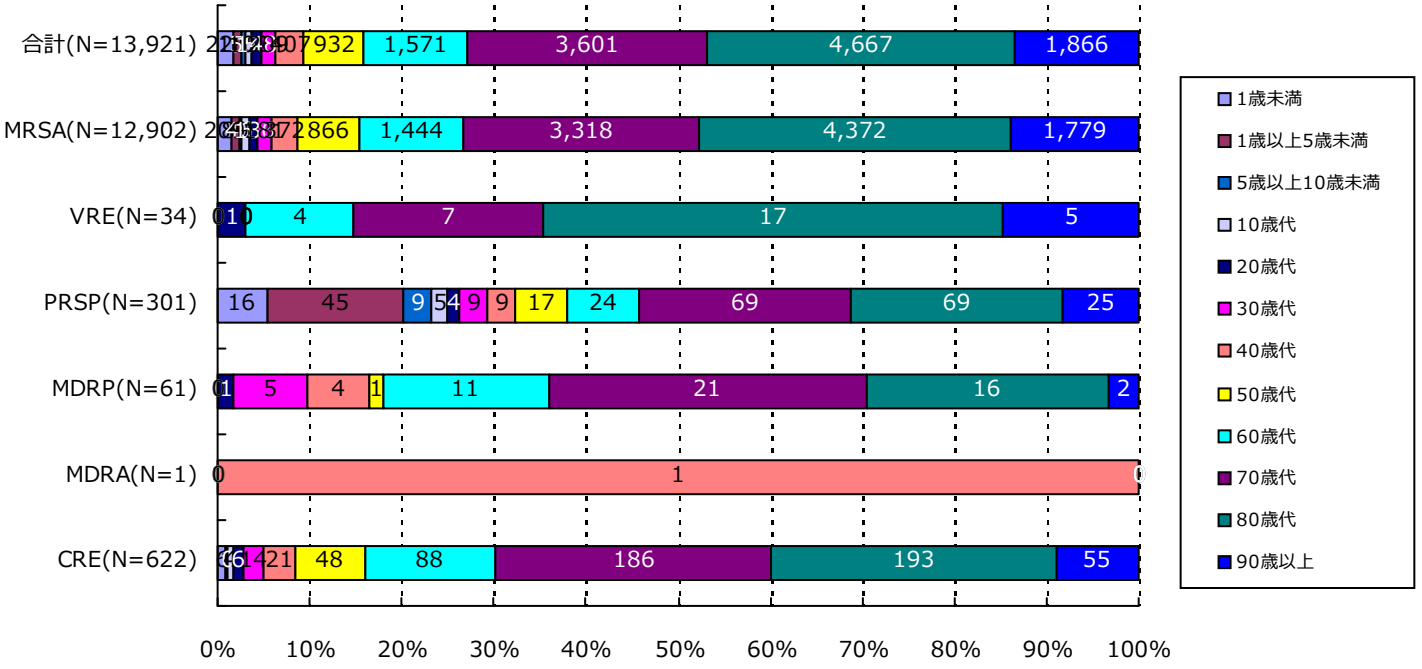
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日: 2025年04月14日

公開情報掲載日: 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	228(1.6%)	206(1.6%)	0(-)	0(-)	16(5.3%)	0(-)	0(-)	6(1.0%)
1歳以上5歳未満	135(1.0%)	89(0.7%)	0(-)	0(-)	45(15.0%)	0(-)	0(-)	1(0.2%)
5歳以上10歳未満	55(0.4%)	46(0.4%)	0(-)	0(-)	9(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	102(0.7%)	93(0.7%)	0(-)	0(-)	5(1.7%)	0(-)	0(-)	4(0.6%)
20歳代	148(1.1%)	136(1.1%)	0(-)	1(2.9%)	4(1.3%)	1(1.6%)	0(-)	6(1.0%)
30歳代	209(1.5%)	181(1.4%)	0(-)	0(-)	9(3.0%)	5(8.2%)	0(-)	14(2.3%)
40歳代	407(2.9%)	372(2.9%)	0(-)	0(-)	9(3.0%)	4(6.6%)	1(100.0%)	21(3.4%)
50歳代	932(6.7%)	866(6.7%)	0(-)	0(-)	17(5.6%)	1(1.6%)	0(-)	48(7.7%)
60歳代	1,571(11.3%)	1,444(11.2%)	0(-)	4(11.8%)	24(8.0%)	11(18.0%)	0(-)	88(14.1%)
70歳代	3,601(25.9%)	3,318(25.7%)	0(-)	7(20.6%)	69(22.9%)	21(34.4%)	0(-)	186(29.9%)
80歳代	4,667(33.5%)	4,372(33.9%)	0(-)	17(50.0%)	69(22.9%)	16(26.2%)	0(-)	193(31.0%)
90歳以上	1,866(13.4%)	1,779(13.8%)	0(-)	5(14.7%)	25(8.3%)	2(3.3%)	0(-)	55(8.8%)
合計	13,921	12,902	0	34	301	61	1	622

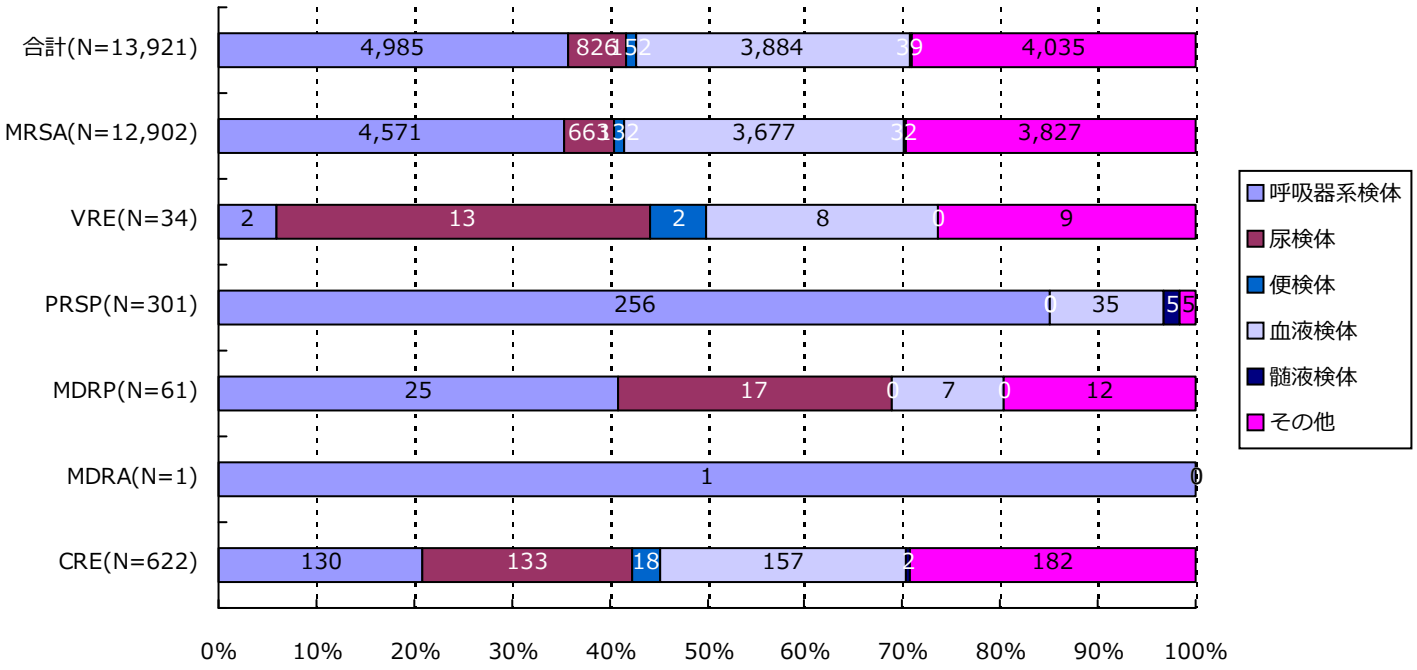
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日: 2025年04月14日

公開情報掲載日: 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	4,985(35.8%)	4,571(35.4%)	0(-)	2(5.9%)	256(85.0%)	25(41.0%)	1(100.0%)	130(20.9%)
尿検体	826(5.9%)	663(5.1%)	0(-)	13(38.2%)	0(-)	17(27.9%)	0(-)	133(21.4%)
便検体	152(1.1%)	132(1.0%)	0(-)	2(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	18(2.9%)
血液検体	3,884(27.9%)	3,677(28.5%)	0(-)	8(23.5%)	35(11.6%)	7(11.5%)	0(-)	157(25.2%)
髄液検体	39(0.3%)	32(0.2%)	0(-)	0(-)	5(1.7%)	0(-)	0(-)	2(0.3%)
その他	4,035(29.0%)	3,827(29.7%)	0(-)	9(26.5%)	5(1.7%)	12(19.7%)	0(-)	182(29.3%)
合計	13,921	12,902	0	34	301	61	1	622

*検体区分については巻末の資料１を参照

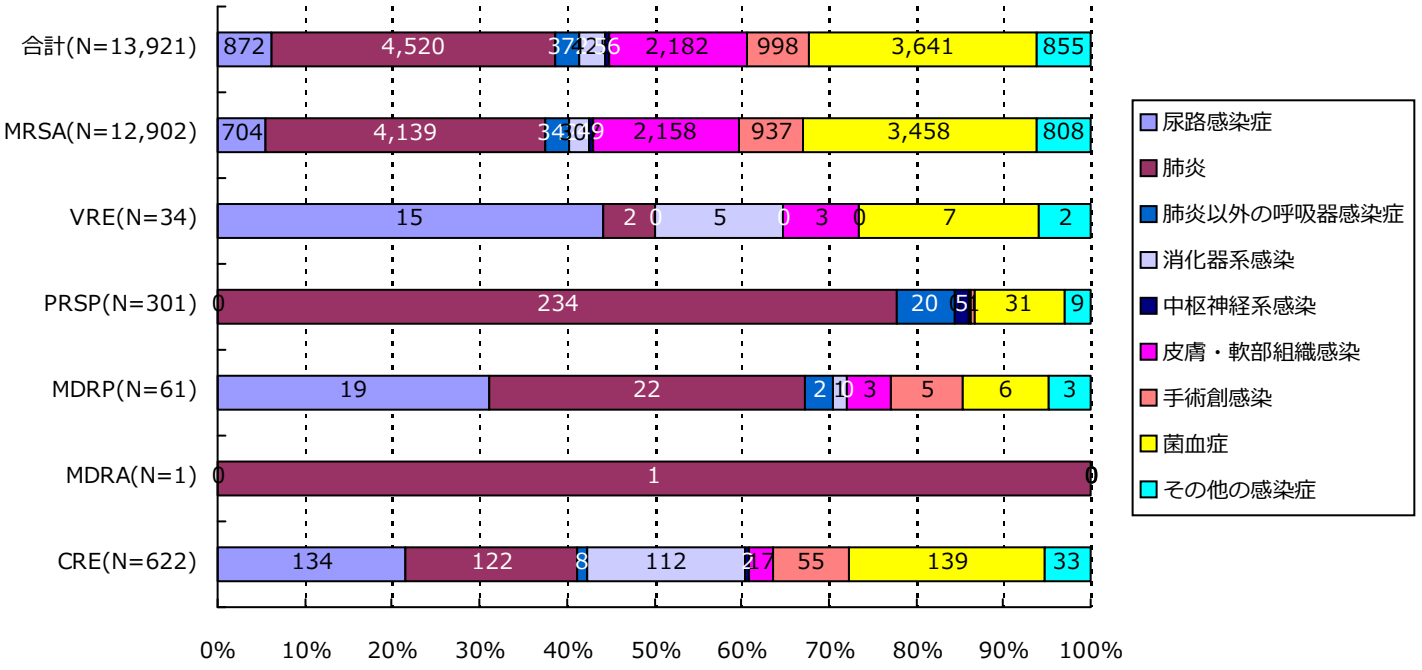
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日: 2025年04月14日

公開情報掲載日: 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	872(6.3%)	704(5.5%)	0(-)	15(44.1%)	0(-)	19(31.1%)	0(-)	134(21.5%)
肺炎	4,520(32.5%)	4,139(32.1%)	0(-)	2(5.9%)	234(77.7%)	22(36.1%)	1(100.0%)	122(19.6%)
肺炎以外	372(2.7%)	342(2.7%)	0(-)	0(-)	20(6.6%)	2(3.3%)	0(-)	8(1.3%)
消化器系	425(3.1%)	307(2.4%)	0(-)	5(14.7%)	0(-)	1(1.6%)	0(-)	112(18.0%)
中枢神経系	56(0.4%)	49(0.4%)	0(-)	0(-)	5(1.7%)	0(-)	0(-)	2(0.3%)
皮膚・軟部	2,182(15.7%)	2,158(16.7%)	0(-)	3(8.8%)	1(0.3%)	3(4.9%)	0(-)	17(2.7%)
手術創	998(7.2%)	937(7.3%)	0(-)	0(-)	1(0.3%)	5(8.2%)	0(-)	55(8.8%)
菌血症	3,641(26.2%)	3,458(26.8%)	0(-)	7(20.6%)	31(10.3%)	6(9.8%)	0(-)	139(22.3%)
その他	855(6.1%)	808(6.3%)	0(-)	2(5.9%)	9(3.0%)	3(4.9%)	0(-)	33(5.3%)
合計	13,921	12,902	0	34	301	61	1	622

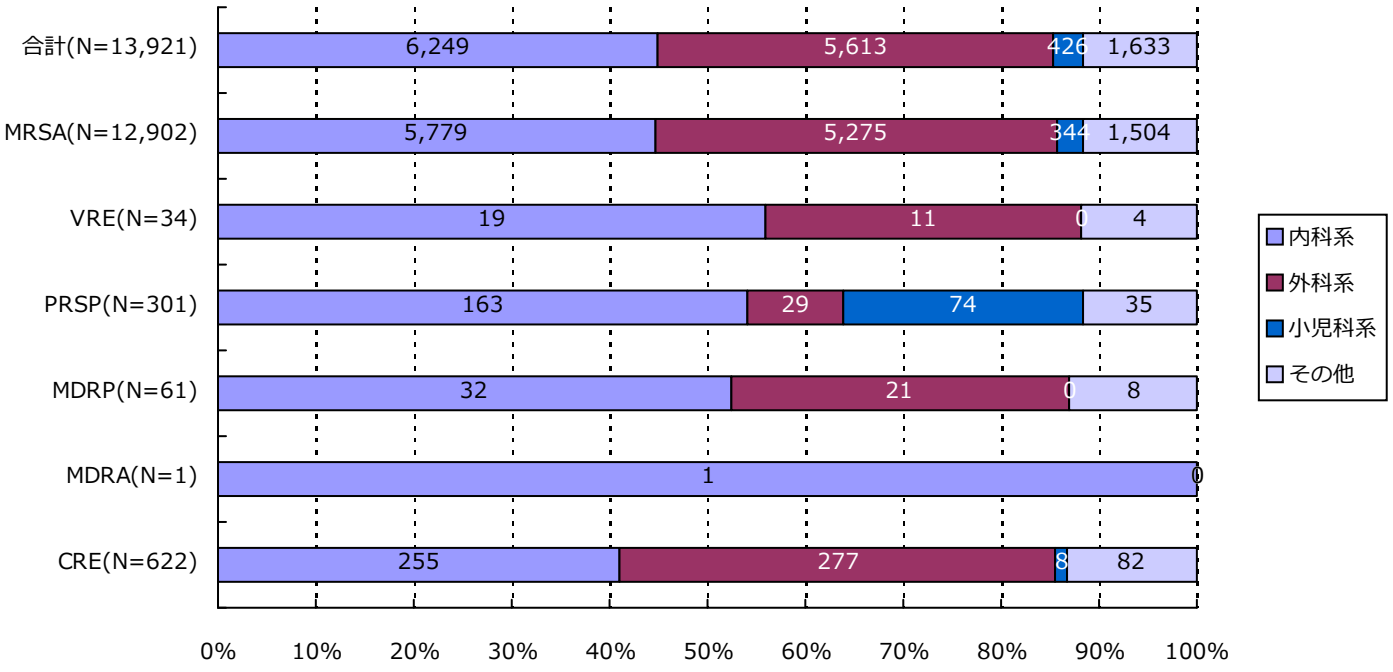
本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日： 2025年04月14日

公開情報掲載日： 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	6,249(44.9%)	5,779(44.8%)	0(-)	19(55.9%)	163(54.2%)	32(52.5%)	1(100.0%)	255(41.0%)
外科系	5,613(40.3%)	5,275(40.9%)	0(-)	11(32.4%)	29(9.6%)	21(34.4%)	0(-)	277(44.5%)
小児科系	426(3.1%)	344(2.7%)	0(-)	0(-)	74(24.6%)	0(-)	0(-)	8(1.3%)
その他	1,633(11.7%)	1,504(11.7%)	0(-)	4(11.8%)	35(11.6%)	8(13.1%)	0(-)	82(13.2%)
合計	13,921	12,902	0	34	301	61	1	622

*診療科の内訳については巻末の資料２を参照

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日: 2025年04月14日
公開情報掲載日: 2025年07月10日

Japan Nosocomial Infections Surveillance

・資料１

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料２

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆膵外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

2024 年 2 月改訂

厚生労働省　院内感染対策サーベイランス　薬剤耐性菌　判定基準（Ver.3.3）

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）	MPIPC または CFX が “R” の *Staphylococcus aureus* または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC≧4μg/mL* または CFX≧8μg/mL*	MPIPC≦10mm † CFX≦21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）	VCM が微量液体希釈法で “R”の *Staphylococcus aureus*	1301、1303-1306	VCM≧16μg/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）	下記のいずれかの条件を満たす *Enterococcus* spp. ・VCM が微量液体希釈法で耐性 † ・VCM がディスク拡散法で"R" ・選択培地で VRE と確認された菌 注）種の同定が行われていない *Enterococcus* sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM≧16μg/mL †	VCM≦14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）	PCG が微量液体希釈法で耐性 †、または MPIPC がディスク拡散法で“S 以外”の *Streptococcus pneumoniae*	1131	PCG≧0.125μg/mL †	MPIPC≦19mm †
多剤耐性緑膿菌（MDRP）	下記のすべての条件を満たす *Pseudomonas aeruginosa* ・カルバペネム系（IPM、MEPM のいずれか）が微量液体希釈法で耐性 †、またはディスク拡散法で“R” ・アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 †、またはディスク拡散法で“R” ・フルオロキノロン系が“R”（NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか）	4001	IPM・MEPM≧16μg/mL † AMK≧32μg/mL † NFLX≧16μg/mL* OFLX・LVFX・LFLX≧8mL* CPFX≧4μg/mL* †	IPM・MEPM≦13mm † AMK≦14mm* NFLX・OFLX≦12mm* LVFX≦13mm* LFLX≦18mm* CPFX≦15mm* †
多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）	下記のすべての条件を満たす *Acinetobacter* spp. ・カルバペネム系が“R”（IPM、MEPM のいずれか） ・アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 † またはディスク拡散法で“R” ・フルオロキノロン系が“R”（LVFX、CPFX のいずれか）	4400-4403	IPM・MEPM≧16μg/mL † AMK≧32μg/mL † LVFX≧8μg/mL* CPFX≧4μg/mL* †	IPM・MEPM≦13mm † AMK≦14mm † LVFX≦13mm* CPFX≦15mm* †
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・MEPM が耐性 † ・IPM が耐性 †、かつ CMZ が“R”	2000-2691、3150-3151	MEPM≧2μg/mL † IPM≧2μg/mL † かつ CMZ≧64μg/mL* †	MEPM≦22mm † IPM≦22mm † かつ CMZ≦12mm* †

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠